

高山駅周辺まちづくり協議会  
第三回民有空間検討部会

日時：平成16年4月20日 13:30～  
場所：高山市役所 行政委員室

1.部会長挨拶

第三回ということで、今日は建て替えの事例など具体的な話をお聞きできるということでございます。活発なご討議を頂きまして、今年度は中間的な目標が9月頃となっておりますので先を少し急がなければならないという状況もありますが、現状がどうなっているかについてご認識頂きまして、今後のまちづくりや景観整備等に活かしていきたいと思っております。

2.資料説明

- まちづくりの目標について（高山市シビックコア地区整備計画）
- 景観ガイドラインの役割とつくり方について
- 民有空間検討部会の進め方について
- 住民アンケート調査について

3.意見・質疑応答

部会の進め方について

委員：資料3の部会の進め方では、本題に入るのが5月からになるものです。他の方がどう考えているかのアンケート結果があると議論しやすい。事務局でもスケジュール調整をお願いしたい。

委員：公共空間検討部会では、これまでどのような検討がされてきているのか。民間とのすりあわせをどのように考えているのか。

事務局：前回1月に民間と合同で開催させていただき、その後公共の部会は開催しておりません。現在、駅の西側の公園について設計を進めているが、ある程度その設計の中身が固まってきた段階で、公共空間検討部会にはからせていただきたいと考えています。また、駅前広場の計画も検討することから、再度、公共検討部会にはかりたいと考えています。この民有空間検討部会との関係は、景観という面では公共も民間も同じと考えています。民有空間検討部会での意見を事務局から公共空間検討部会で説明させていただきたい。

部会長：次回の公共空間検討部会は7月か。

事務局：もう少し前になると思います。

委員：JRとの関係はどうなっているか。

事務局：駅前広場の計画に対して、JRの意見も必要ですが、現在のJRの意向としてはこの様な大勢の場で意見することは差し控えたいとのことである。

アンケートについて

部会長：部会に出席している委員だけで決めてよいのかどうか。地権者、関係者の方にアンケートをとっていただき、そのご意見をふまえここで討議していきたい。

答える側という点からもどのようなアンケートが良いか、また、今後この部会で知りたい事柄など意見、提案があれば挙げていただきたい。それにより修正方法が決まればアンケートをすぐ発送できるのではないかと。発送は50～60人程度である。

委員：このアンケートでは、主旨を最初に載せ、まちづくりの地区をどのような地区にしていくのかという個別項目をあげ、どのようなことを重視しているのかを尋ねる構成としている。これから景観形成をするにあたって、どういった点が重要なのかについてお聞きしたい。

質問 3 については景観形成そのものではないが、基礎的情報なものとして、どの位置で土地建物を所有しているか、どのような利用をするか、今後どのようにお考えなのか等を訪ねるものである。質問を大きく 3 項目にし、最後に自由意見を入れ 4 項目とするという構成についてどうなのか、ご意見を伺いたい。

委員：問 2 については複数回答か。

委員：そうです。

部会長：クロス集計を行った場合、質問 3-1 で所有する土地についての質問があるが、ここで答えている人が質問 1 ではどう答えているかという集計の仕方になる。質問 3-1 が先ほど事務局で悩みになっている土地 3 区分で聞くのか、どこに土地を持っているのかという部分で聞くのかがポイントになるのではないかと思う。この部会で居住地別にどう考えているのか、居住地別とはどこで区切れればいいのかを提案いただければ事務局の悩みは解消されると思う。気になった質問 2 の選択肢が 8 つほどあるが、回答側にとってこれくらいでいいのかどうかご検討いただきたい。

委員：質問 3 の「道路に面しているか」という質問は、駅西、東というイメージなのか。駅前通りでも、東と西ではイメージが違ってくる。回答された方がどちらの方なのかというのがわかったほうがいいのではないか。

委員：これは無記名回答か。

部会長：そうです。

部会長：そうすると、道路に面してるかどうかというより、今回の範囲内のどのブロックに住んでいる方がどう考えているかのみにしておけばよいのではないか。

委員：今、住んでいるのは東か西かと聞くくらいでよいのではないか。

委員：質問 1 について、どこにいくにもわかりやすい地区というのはどういうことか。

委員：いろんなサイン、表示がしっかりしているという意味で、わかりやすいという主旨である。駅前の交通拠点ということで、市内のいろいろなところへ行くのがわかりやすいことを示している。

委員：問 1 だが、「高山らしい雰囲気のある地区」というのは、なにをもって高山らしいのか。例えばもっと解りやすい「伝統的な雰囲気をもつ地区」とかにしてはどうか。

委員：既存の伝統的な町並みの中で高山駅前はどこをどう意識しているのかというのがあると思う。ここでも伝統的な要素を感じるのかどうか

部会長：「伝統的な雰囲気をもつ地区」といった言い回しとしてはどうか。

委員：問 2 の「あなたが守れると思える範囲内で」ということわりが入ってはいるが、「決める」というのは、どんな決め方をされるのかで守れるかどうかというのが変わってくるのではないか。大まかな選択肢があるように決め方にするのか、1 つ明確な決め方になるのかわかるようにしておくのはどうか。

委員：問 2 の 5 番目だが、看板等設置方法を決めるという部分についての個人的な感想だが、屋上の大きな看板、電光掲示板等の設置を地権者が考えていくのだろうが、これらの規制をするのかしないか。これから建物を建てる人は気になるのではないだろうか。規制をしないと個人的な広告等の利益に走り雑多な都会の駅前と変わらなくなってしまう。

委員：5 項目、看板のところ、歩道上と建物の看板が一緒になってしまっているが、条例から見ると別々のものなので設問を別にしないといけない。路上の違法看板が多い。建物についてはご意見があったように広告の経済性の問題もある。香港のように個々の看板の意味がなくなってしまうものもあれば、ザルツブルグのような個々のアートの看板もある。今後駅前の広告物の在り方はどういう風にしたら個々の店、そしてまちにメリットがあるかというのは重要になってくる。

部会長：看板についてはルールづくりということで、例えば赤を使ってはいけないとかの事で、先ほ

どのわかりにくかった「高山らしい」という表現をしてはどうか。守れる範囲での最大効果があり雰囲気をおおさないものはどういったものかという点で討議していただきたい。アンケートに関しては、わかりやすい言葉に変えるということ、質問 2 では文章自体と選択肢をもう少し検討いただくということに。質問 3 では駅西駅東とおおざっぱにするということによろしいか。事務局と相談して、できるだけ次の部会で出させていただくということで了解をしていただきたい。